

**核兵器禁止条約**  
**締約国会議へのオブザーバー参加について<sup>1</sup>**  
2024.12.7

**オブザーバー参加の前提**

- オブザーバー参加は会議への出席であり、条約の法的義務を負うことにはならない。
- オブザーバー参加は、将来的に条約の締約国になるとの意図を示すものではない。

**過去にオブザーバー参加した米国の同盟国**

第1回締約国会議(2022年6月)

- オーストラリア
- NATO:ドイツ、ノルウェー、ベルギー、オランダ(会議の数日前に議会の動議を経て参加決定)  
※ 当時、NATOに加盟申請中だったフィンランドとスウェーデンもオブザーバー参加

第2回締約国会議(2023年11~12月)

- オーストラリア
- NATO:ドイツ、ノルウェー、ベルギー(会議初日に参加を発表)

**オブザーバー参加国がしたこと**

締約国会議における発言(一般討論と個別課題セッション)

- ドイツ、ベルギー、ノルウェー、オランダ等

例)第1回締約国会議におけるドイツ発言<sup>2</sup>のポイント

- 核抑止を含めNATOのメンバーシップと相反するため、条約に加入することはできない。
- (条約との)建設的な対話に取り組み、実践的な協力の機会を模索する。
- 条約の積極的義務に関心がある。被害者援助・環境修復の条項はより広い関心と関与に値すると考える。

会議へのステートメント原稿の提出(国連の公式記録に残る)

- ドイツ、ベルギー、ノルウェー等

プレスリリースを通じた立場の表明

例)第2回締約国会議に関するオーストラリア外務省のプレスリリース<sup>3</sup>

- オーストラリアは条約の締約国ではないが、核軍縮のための現実的な道筋を見出すために(条約に)建設的に関わる。
- オーストラリアの会議参加は、条約の①検証および執行体制、②NPTとの関わり、③普遍的支持、とりわけ核兵器国の支持をどう達成するかなどについて知見を提供するものだ。

オブザーバー参加を通じて、①「核兵器のない世界」という目標を共有しつつも、目下は米国の「核の傘」に依存せざるを得ないという自国の立場と、②それを前提として、核兵器禁止条約の各論に対する関心や知見、協力の可能性を示すことが可能である。

<sup>1</sup> 川崎哲(核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN))、浅野英男(核兵器をなくす日本キャンペーン)  
[kawasaki@peaceboat.gr.jp](mailto:kawasaki@peaceboat.gr.jp) 090-8310-5370、[asano@nuclearabolitionjpn.com](mailto:asano@nuclearabolitionjpn.com) 050-6883-9419

<sup>2</sup> <https://documents.unoda.org/wp-content/uploads/2022/06/Germany.pdf>

<sup>3</sup> <https://www.foreignminister.gov.au/minister/penny-wong/media-release/second-meeting-states-parties-treaty-prohibition-nuclear-weapons>

## オブザーバー参加に対する反応

### 国内の反応

- どのオブザーバー参加国においても、世論に大きな悪影響を与えた事例は見られない。
- むしろ前政権との違いを示したり(ドイツやオーストラリア)、議会の要請を受けて会議に参加した(オランダ<sup>4</sup>)など、国内世論へのアピールの手段となった場合もある。

日本では、国民の約6～7割や国会議員の5割以上がオブザーバー参加を支持している。それに加え、日本被団協のノーベル平和賞受賞によって、この問題に対する世論とメディアの関心はきわめて高まっている。

### 同盟国の反応

- 同盟国によるオブザーバー参加に対して、アメリカから表立った批判が向けられた事例は(少なくとも公開されている情報の範囲では)見受けられない。同様に、オブザーバー参加によって同盟関係が揺らいだという事例も見当たらない。

例)オーストラリア外務省は「(同国の)オブザーバー参加が条約加入への第一歩であると誤解される」リスクを挙げ、オブザーバー参加しないよう勧告した<sup>5</sup>。しかし、ペニー・ウォン外務大臣はその勧告を受け入れず、オブザーバー参加に関するさらなるアドバイスを求めた。結果としてオーストラリアは第1回締約国会議にオブザーバー参加したが、米豪関係に問題は生じず、外務省の杞憂に終わったと言える。

- むしろ、ここ数年で拡大核抑止を含む米豪やNATOの同盟関係は着実に強化されている。

過去の事例を参照する限り、日本のオブザーバー参加が米国から重大な批判を招いたり、日米関係に大きな動揺をもたらすとは考えにくい。

### その他

- 会議参加にかかる分担金の負担

<sup>4</sup> [https://www.icanw.org/netherlands\\_tpnw\\_msp](https://www.icanw.org/netherlands_tpnw_msp)

<sup>5</sup> <https://www.theguardian.com/world/2023/feb/07/penny-wong-overruled-department-by-sending-observer-to-anti-nuclear-treaty-meeting>